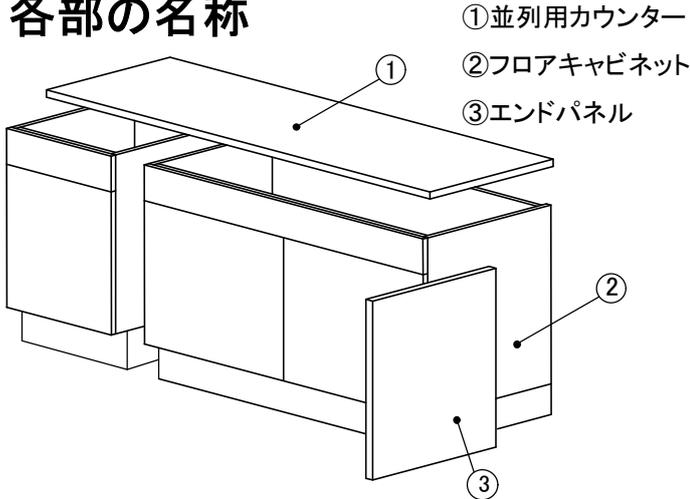


## システムキッチン 並列ユニット設置説明書

### 各部の名称



### もくじ

#### 設置される方へ

1. 設置される方へのお願い	1
2. 安全上のご注意	1
3. 設置前のご確認	2
4. 設置方法	2
5. 仕上げ	16
6. 安全点検	16
7. お願い事項	16

## 1. 設置される方へのお願い

- キッチン設置者の安全と使用者の安全確保のため、この設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。
- 本説明書は、並列ユニットに関する設置説明書です。その他のキャビネットは、それぞれに添付する設置説明書をご覧ください、正しい設置を行ってください。
- 中抜け配列の場合は、別途中抜け化粧部材が必要になります。中抜け化粧部材に付属の設置説明書を合わせてお読みください。(人大カウンターの場合のみ)
- 設置完了後、各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。
- 取扱説明書は流し台に同梱されていますシステムキッチン取扱説明書をご覧ください。  
なお、並列ユニットのみご購入された場合は、弊社営業所から取扱説明書を取り寄せください。
- 本設置説明書は紛失や汚れのないように保管し、設置完了後お客様にお渡しください。

## 2. 安全上のご注意

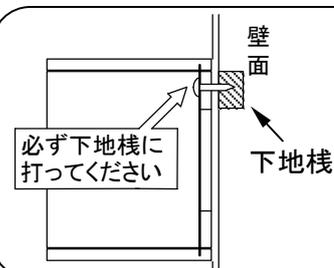
**必ずお守りください**

設置前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。

- 表示内容を無視して誤った設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

<b>警告</b>	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。		このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。
<b>注意</b>	この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみが発生が想定される」内容です。		このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

### 警告



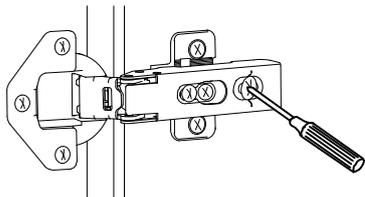
キャビネット固定ネジを打つ部分には、十分な強度をもつ木質の下地棧があることを確認し、所定の付属ネジを使用して、手順通り確実にこなってください。



ネジ打ち部分に下地棧が無かったり下地棧の強度が不足している場合や、短いネジ、細いネジを使用するとキャビネットが転倒・脱落して大けがをされるおそれがあります。

# ⚠ 注意

- 設置完了後は、扉の傾き・ガタツキ・丁番や引戸レールのゆるみのないことを必ず確認してください。



- 扉、引戸の取付に異常があると、使用中に扉が落下してけがをするおそれがあります。

- 設置に使用される溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品については、それぞれの注意表示にしたがって、正しくお使いください。



- 誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になるおそれがあります。

- 棚板を設置する時は、棚受ダボの正しい向きで、すきまのないよう根元まで確実に差し込んでください。



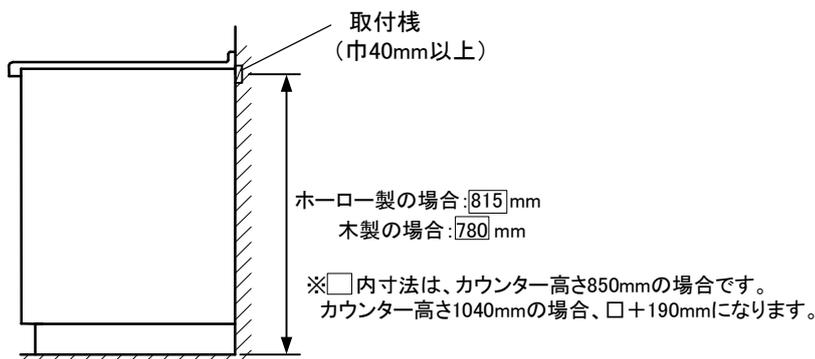
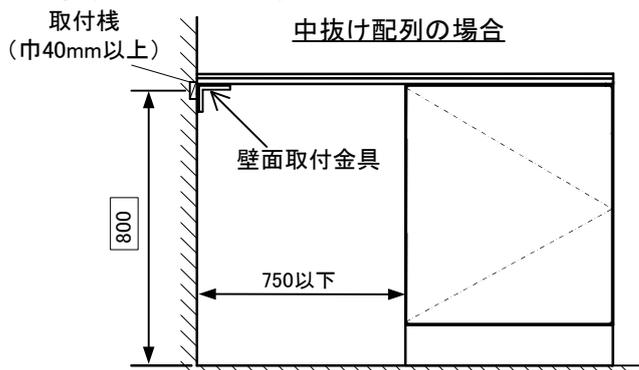
- 棚受がはずれ、食器などが落下してけがをするおそれがあります。

## 3. 設置前のご確認

- 注文した製品が納入されているか確認してください。
- 設置する場所の直角・水平レベルを確認してください。
- 並列ユニットの両側が壁の場合、壁間の寸法がカウンター間口より6~7mm以上大きいことを確認してください。
- 並列ユニットはキャビネット後方、および側面より壁面にネジで固定します。

したがって、ネジ打ち位置の壁面下地が十分な強度を有するか確認してください。

強度が十分でない場合は、取付ネジの位置に巾40mm以上の桟木を壁面下地に取付けてください。



## 4. 設置方法

下記の手順にしたがって、設置作業を進めてください。

### I. ホーロー製カウンターキャビネットの設置方法

H-1. 扉・引出の取りはずし	P.3
H-2. キャビネットの仮置き	P.3
H-3. キャビネットの設置	P.4
H-4. 中抜け配列でカウンターの片端を壁・ツールユニットに固定する場合	P.9
H-5. カウンターの設置	P.9
H-6. 台輪テープの貼付	P.11
H-7. エンドパネルの取付	P.11
H-8. 扉・引出の取付	P.11

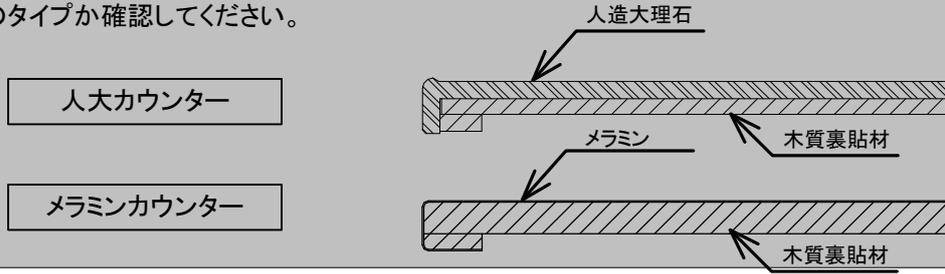
### II. 木製カウンターキャビネットの設置方法

M-1. 扉・引出の取りはずし	P.12
M-2. キャビネットの仮置き	P.12
M-3. キャビネットの設置	P.12
M-4. 中抜け配列でカウンターの片端を壁・ツールユニットに固定する場合	P.13
M-5. カウンターの設置	P.14
M-6. 扉・引出の取付	P.15

# I. ホーロー製カウンターキャビネットの設置方法

(木製カウンターキャビネットの場合は12～15ページを参照してください)

注)カウンターは2タイプあります。各々設置方法が異なりますので、設置するカウンターがどのタイプか確認してください。



人大カウンター

メラミンカウンター

## H-1. 扉・引出の取りはずし

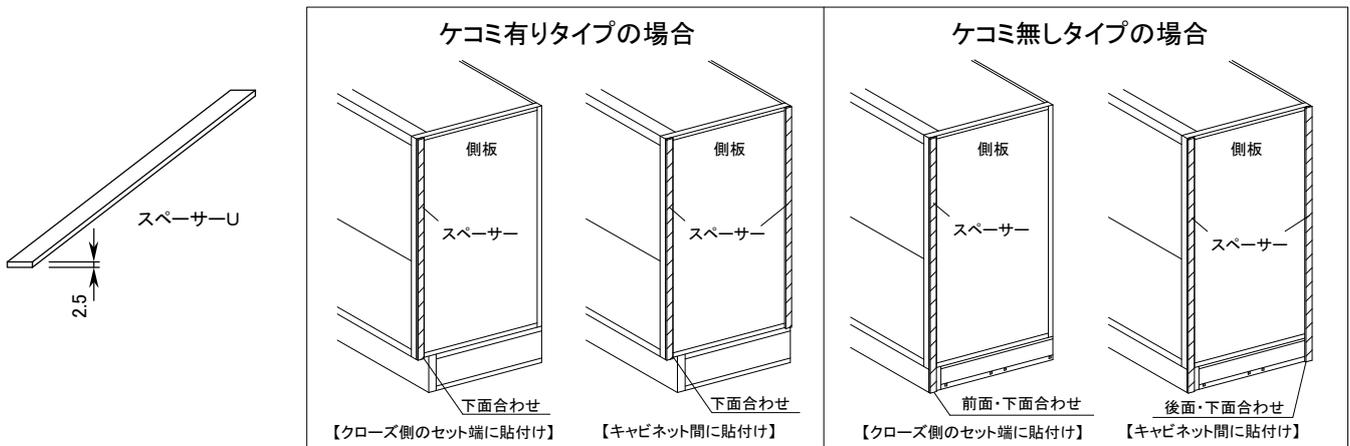
シンクキャビネットに付属の設置説明書を参照して扉と引出を取りはずしてください。

## H-2. キャビネットの仮置き

### 【1. 間口調整用スペーサーの貼付】

仮置きしたキャビネット間口(エンドカバー/エンドパネル含む)を測定し、カウンター間口との差に合わせてスペーサーU(t2.5mm)をキャビネットに貼付けます。

- ① クローズ側のセットエンドの端面に、1枚(手前のみ)貼付けてください。  
※ミキリ対応フィラーが付く場合は、セットエンドには貼付けないでください。
- ② ①でも足りない場合は、2枚目をカットしてキャビネット間の側板に貼付けてください。



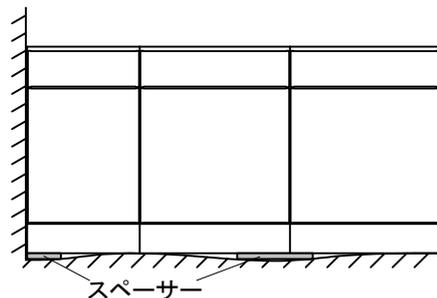
注) ● 食器洗い乾燥機およびビルトインレンジと隣接する箇所には貼付けないでください。

● コンロキャビネットと他のキャビネットの間に貼付ける場合は、コンロキャビネット側に貼付けてください。

● シンクキャビネットと他のキャビネットの間に貼付ける場合は、他のキャビネット側に貼付けてください。

### 【2. キャビネットの仮置き・床面のレベル出し】

キャビネットを仮置きし、床面のレベルが出ていない場合は、キャビネットとの間に適当なスペーサーを入れてレベルを調整してください。



## H-3. キャビネットの設置

### 【1. キャビネットの連結】

注) ●下部の連結はキャビネット間にスキ間があかないようにするために行ないます。

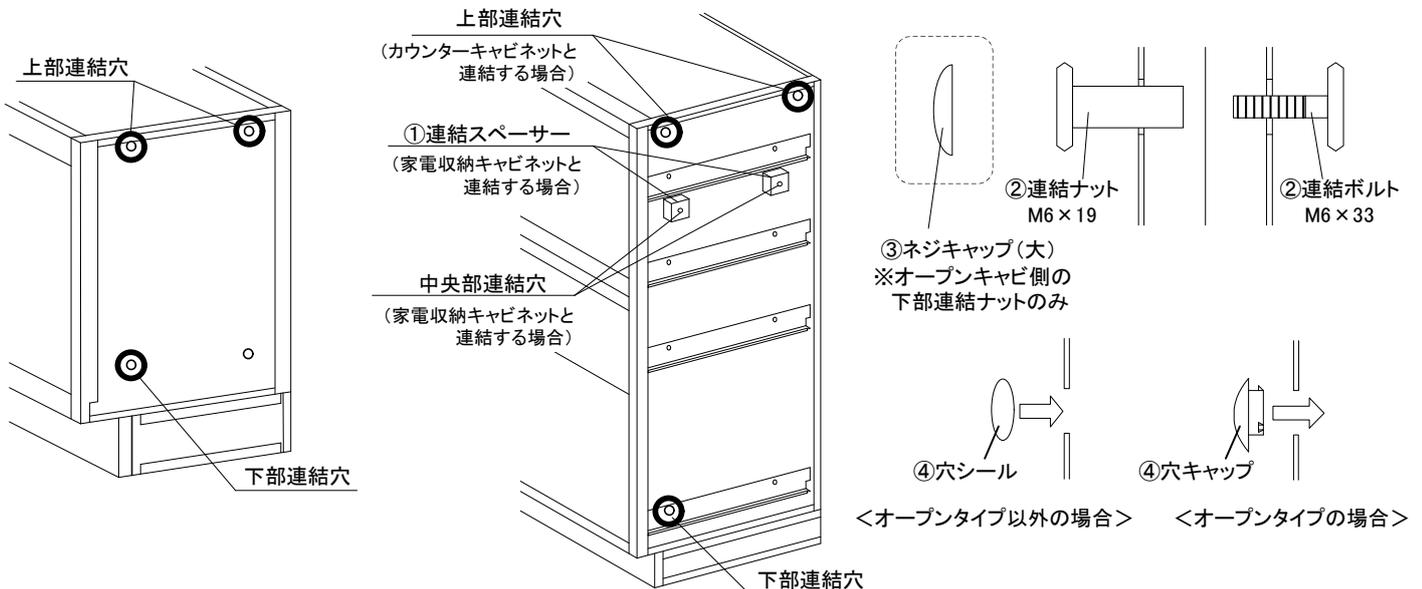
連結するキャビネットを密着させた状態で軽く締め付けてください。

**強く締め付けすぎるとキャビネットが変形し、引出の開閉が重くなるおそれがあります。**

- 電気ドライバーは使用しないでください。
- 設置完了後に引出の開閉を確認して、重いようであれば下部の連結を緩めて調整してください。

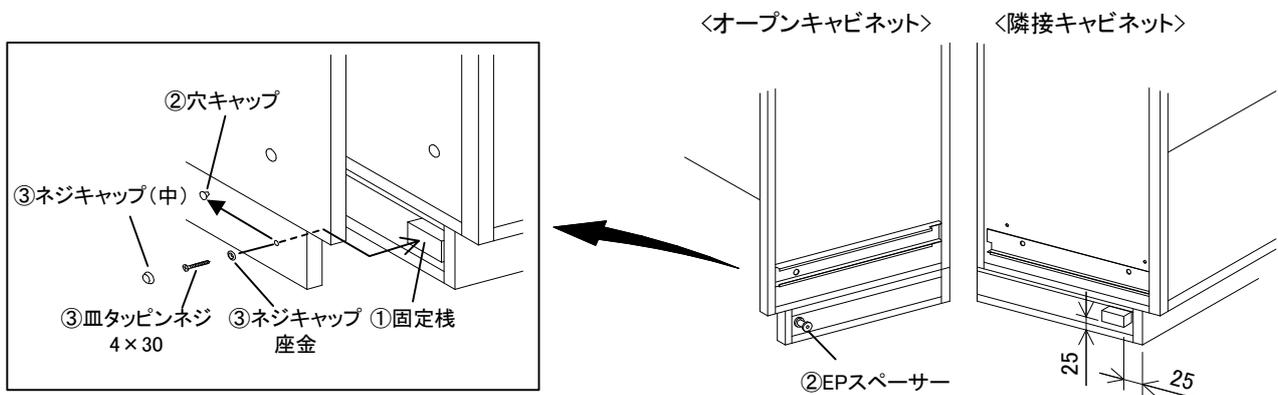
- ①高さ1040mmで家電収納キャビネットと連結する場合は、側板の中央部連結穴に連結スペーサーの穴を合わせて貼付けてください。
- ②キャビネットの側板の連結穴より、連結ボルト・連結ナットで隣接するキャビネットを連結してください。
- ③オープンタイプのキャビネットを連結する場合は、下部連結ボルト・連結ナットにネジキャップ(大)を取付けてください。
- ④連結後、使用していない連結穴には「穴シール(直径16mm)」を貼付けてください。  
オープンタイプの場合は「穴キャップ」を装着してください。

【高さ850mmカウンターキャビネットの場合】 【高さ1040mmカウンターキャビネットの場合】



### <横台輪の連結(オープンタイプのキャビネットを連結する場合のみ)>

- ①オープンキャビネットに同梱の「固定棧」を、隣接キャビネットに取付けてください。
- ②オープンキャビネットの横台輪についている穴キャップを外し、「EPスペーサー」を貼付けてください。
- ③横台輪をネジキャップ座金を介してネジを固定し、ネジキャップ(中)を装着してください。

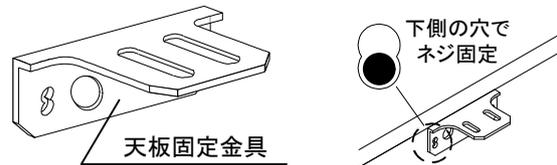
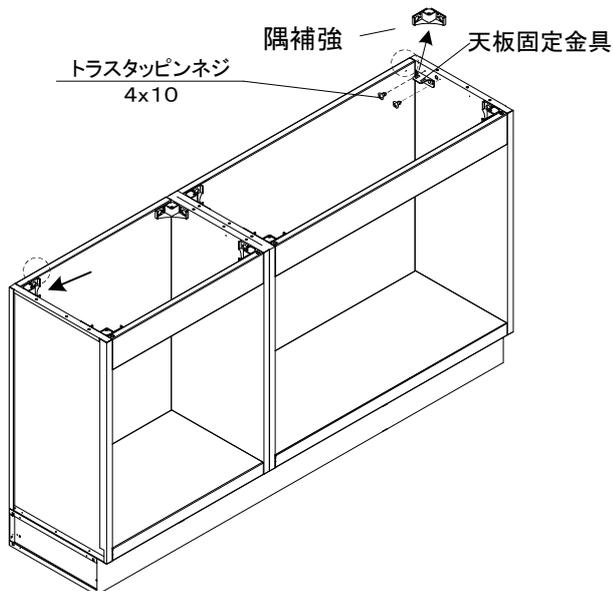


## 【2. 天板固定金具の取付】（メラミンカウンターの場合は不要）

カウンターの両端の後側に位置する隅補強をはずし、天板固定金具に付け替えてください。

なお、天板固定金具の固定穴は、ダルマ穴になっています。

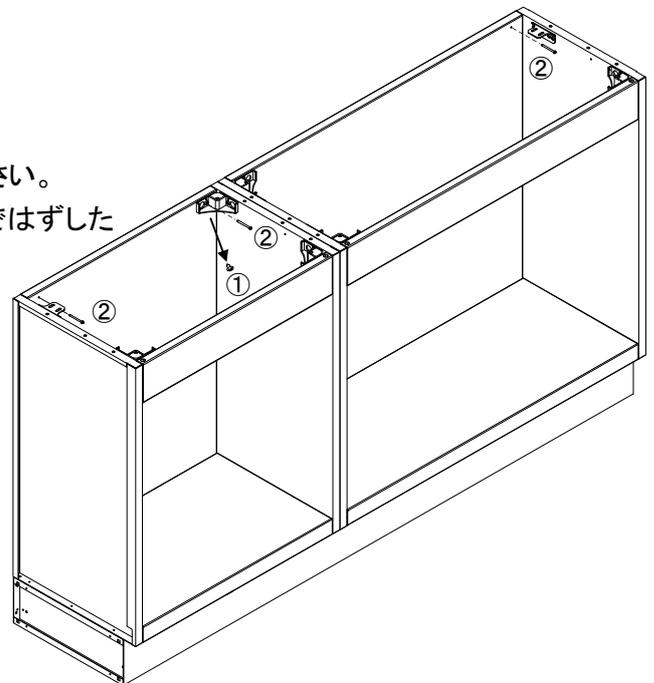
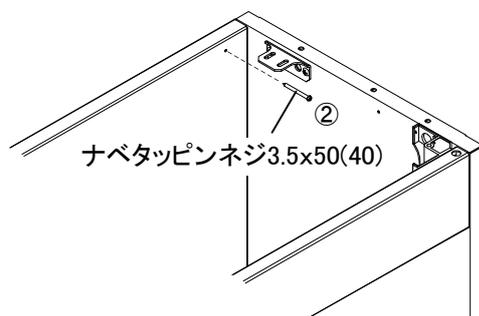
天板固定金具がキャビネット上面と合うように、下側の穴で固定してください。



## 【3. キャビネットの壁固定】

①センター部の隅補強を止めているネジをはずしてください。

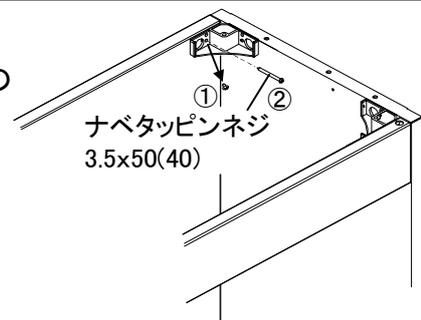
②セット端の隅補強が止まっていたネジ穴、および、①ではずしたネジ穴から壁面へネジ打ちしてください。



### 注)メラミンカウンターの場合

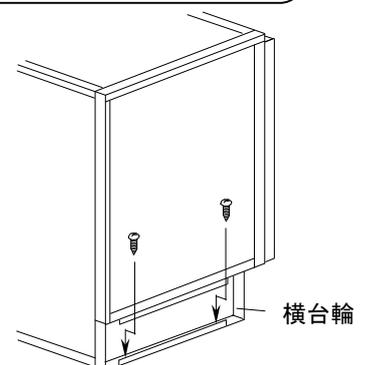
① 隅補強(両サイドおよび中央の3ヶ所)を止めている壁面側のネジをはずしてください。

② ①ではずしたネジ穴からキャビネットをネジで壁面へ固定してください。



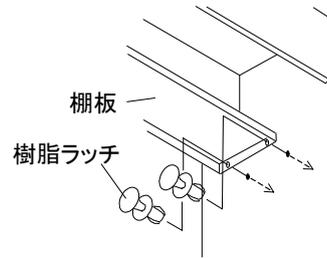
## 【4. キャビネットの床固定】

オープン側は横台輪から床へネジ(現地手配)で固定してください。



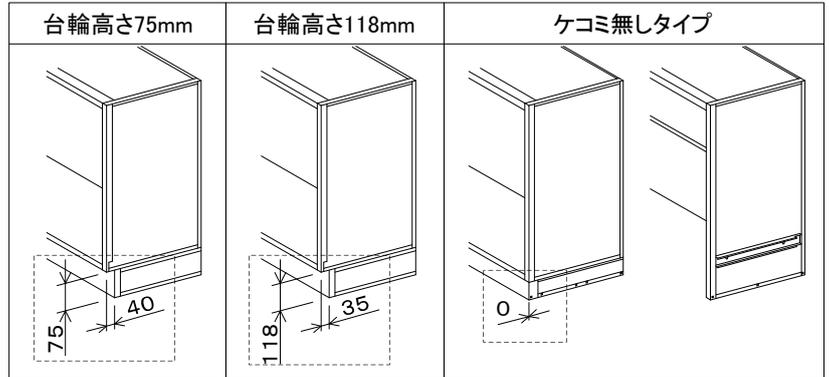
## 【5. 棚板の取付】

- ①棚板の側面に付いているスポンジテープをはがしてください。
- ②棚板と側板の穴を合わせて、樹脂ラッチで固定してください。



## 【6. エンドカバーの取付】 (エンドカバーを取付ける場合のみ)

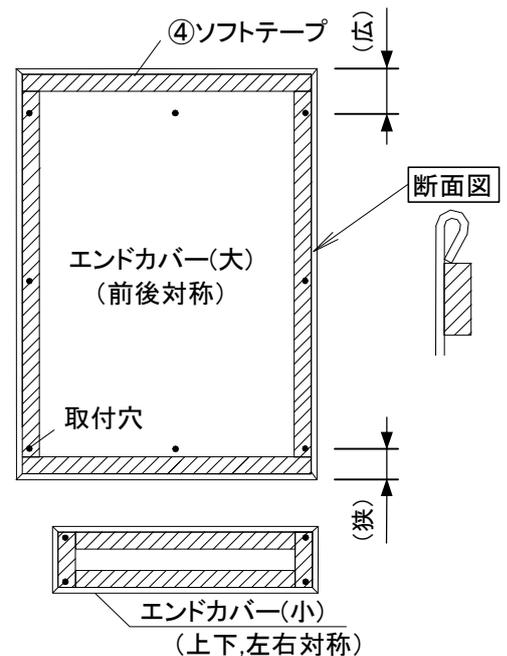
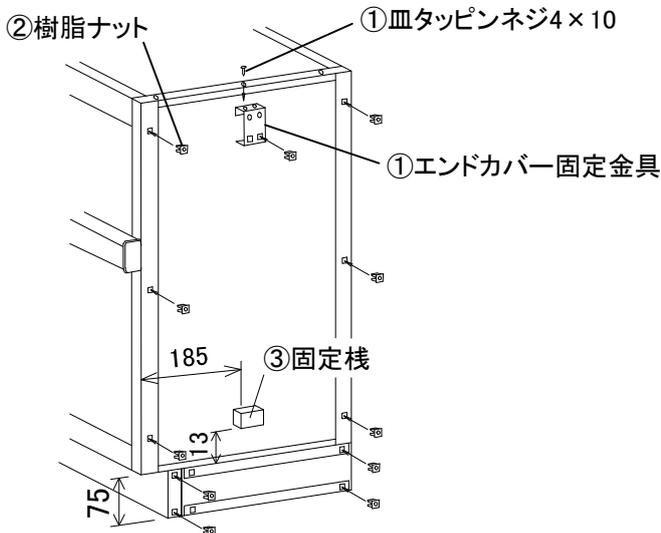
キャビネットタイプによって固定方法が異なります。  
右図を参考にキャビネットタイプを特定いただき、  
それぞれに合った取付けを行ってください。



### 台輪高さ75mmの場合

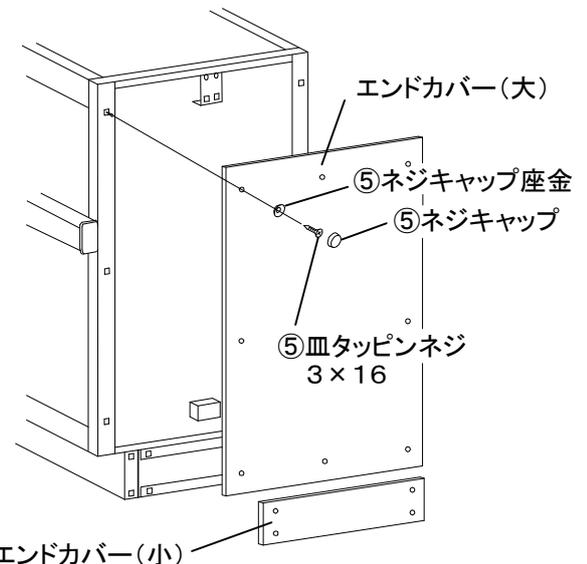
※ハイカウンタータイプも同様に取り付けてください。

- ①側板の上部にエンドカバー固定金具を取付けてください。
- ②キャビネット角穴および金具穴に樹脂ナットを取り付けてください。
- ③キャビネットに固定棧を貼付けてください。
- ④ソフトテープをエンドカバーに貼付してください。



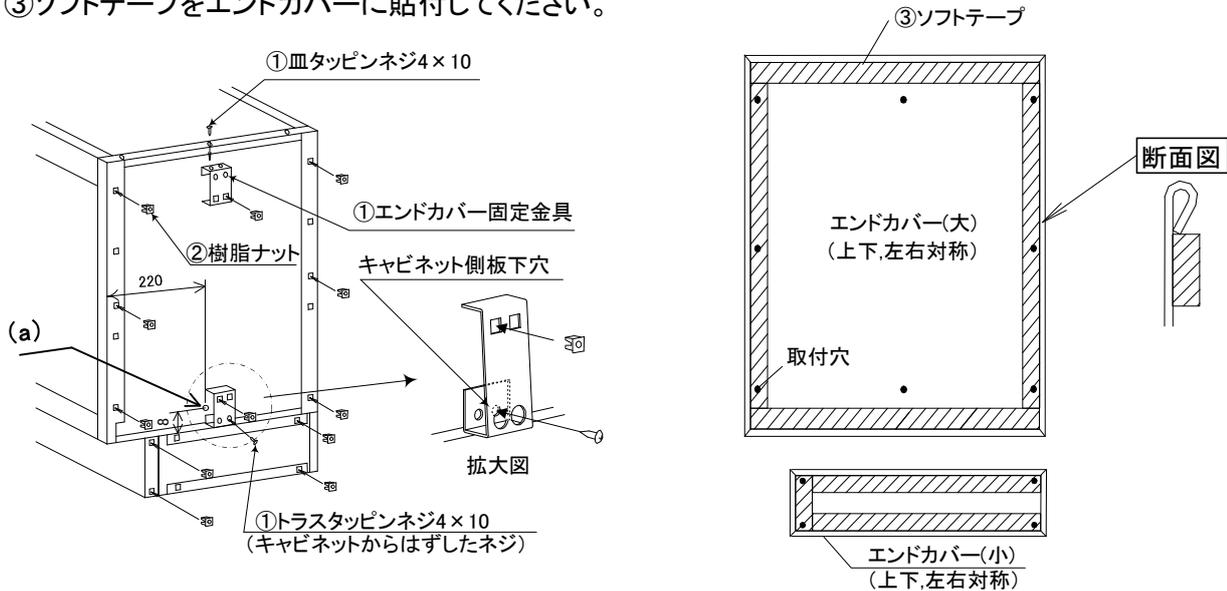
- ⑤エンドカバー(大)・(小)をネジ、ネジキャップ座金で樹脂ナットにネジ止め後キャップをはめてください。

注) ●エンドカバー(小)を取付けてからエンドカバー(大)を取付けてください。  
●エンドカバー(大)と(小)との間にスキがでないようにしてください。  
●固定棧へのネジ打ちは、樹脂ナットへのネジ打ち終了後に行ってください。



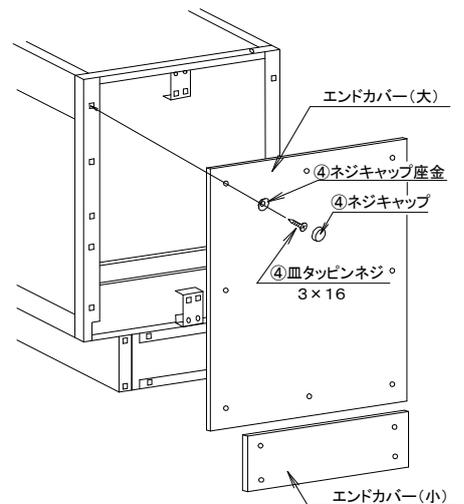
## 台輪高さ118mmの場合

- ①側板の上部・下部にエンドカバー固定金具を取付けてください。  
下部に取付ける場合は、キャビネットに取付けているネジ(a)をはずして使用してください。
- ②キャビネット角穴および金具穴に樹脂ナットを取り付けてください。
- ③ソフトテープをエンドカバーに貼付してください。



- ④エンドカバー(大)・(小)をネジ、ネジキャップ座金で樹脂ナットにネジ止め後キャップをはめてください。

注) ●エンドカバー(小)を取付けてからエンドカバー(大)を取付けてください。  
●エンドカバー(大)と(小)との間にスキがでないようにしてください。  
●固定枠へのネジ打ちは、樹脂ナットへのネジ打ち終了後に行ってください。



## ●「ケコミ無しタイプ」の場合

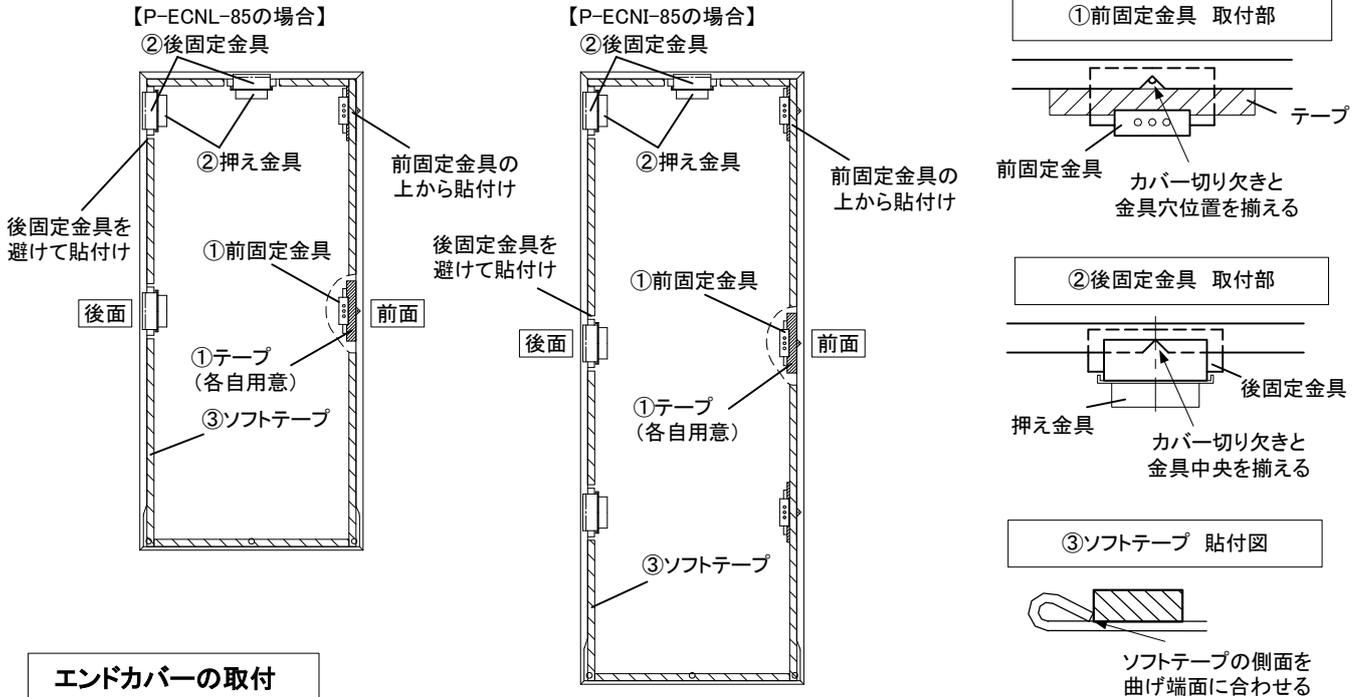
### エンドカバーの下準備

①「前固定金具」をエンドカバーの曲げ部に差し込み、お手持ちのテープで固定してください。

注) 金具にネジを打つまでの仮止めテープです。ネジ打ち時に、はがれない程度のテープで貼付けてください。

②「後固定金具」をエンドカバーの曲げ部に差し込み、「押え金具」で固定してください。

③エンドカバーにソフトテープを貼付けてください。



### エンドカバーの取付

①キャビネット下部の角穴(3箇所)に樹脂ナットを取付けてください。

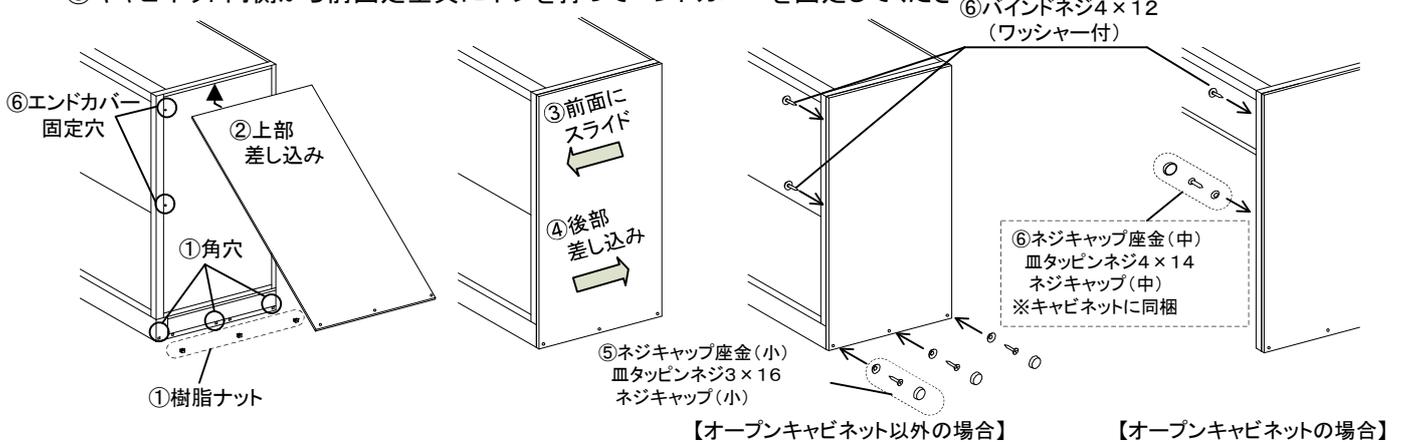
②エンドカバーと側板の後面の位置を合わせ、エンドカバー上部の「後固定金具」を側板上部フランジに差し込んでください。

③エンドカバー後部の「後固定金具」が側板のフランジに当たらない位置まで、エンドカバーを前面側へスライドさせてください。

④エンドカバー後部の「後固定金具」をキャビネット側板後部フランジに差し込み、側板とエンドカバーの前面を揃えてください。

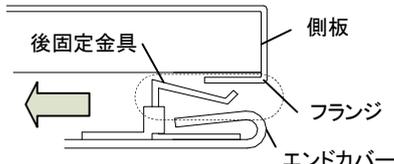
⑤キャビネット外側からネジでエンドカバー下部(3箇所)を固定してください。

⑥キャビネット内側から前固定金具にネジを打ってエンドカバーを固定してください。

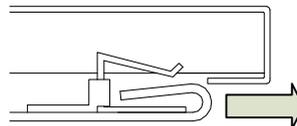


#### ◆「後固定金具」の取り付け方

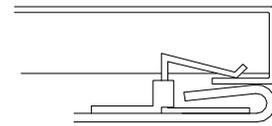
【③フランジと当たらない位置までスライド】



【④フランジ差し込み】



【差し込み完成図】



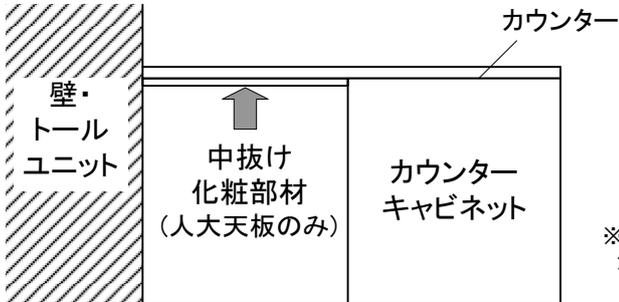
## H-4. 中抜け配列でカウンターの片端を壁・トールユニットに固定する場合

### 【1. カウンター固定用の下穴の加工】

壁面およびトールユニットにホーロー製のパネルが設置されている場合は、穴を加工してください。

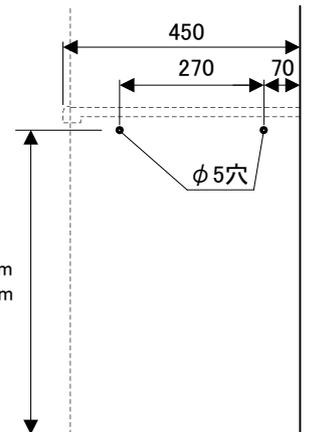
- ①パネルの所定の位置にφ5穴を加工をしてください。
- ②加工した穴にシリコンで防錆処理を施してください。

※人大カウンターの場合、別途中抜き化粧部材の取付が必要になります。



人大カウンターの場合: 798mm  
メラミンカウンターの場合: 802mm

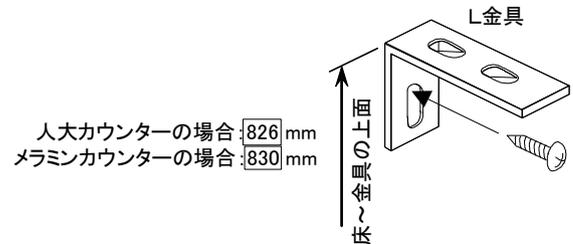
※□内寸法は、カウンター高さ850mmの場合です。  
カウンター高さ1040mmの場合、□+190mmになります。



### 【2. L金具の取付】

L金具を所定の位置にネジで取付けてください。

- 注) ●取付場所によりネジの種類が異なります。  
●ネジは、長穴の上端に打ってください。



※□内寸法は、カウンター高さ850mmの場合です。  
カウンター高さ1040mmの場合、□+190mmになります。

#### <使用ネジ>

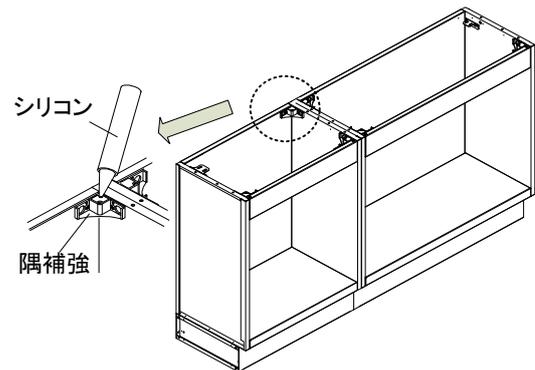
取付箇所	使用ネジ
トールユニット	トラスタッピンネジ4x14 (シルバー色)
トールユニット+エンドパネル	トラスタッピンネジ4x30 (シルバー色)
壁	
壁+キッチンパネル	

## H-5. カウンターの設置

### 【1. シリコンの塗布】

すべての隅補強の上面にシリコンを塗布してください。

注) L金具の上には塗布しないでください。



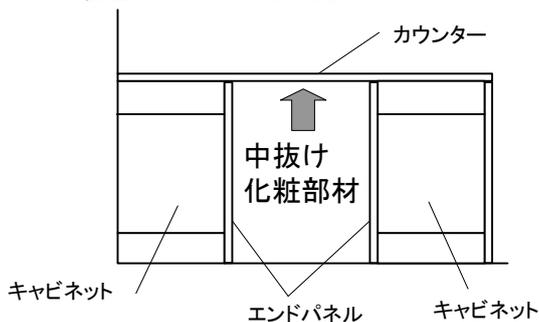
### 【2. カウンターの設置】

下記の要領でカウンターをキャビネット上に置いてください。

奥行方向: キャビネット前部とカウンター前下り部との間にスキがないようにカウンターを押し付けて設置してください。  
間口方向: クローズ側のキャビネット側板とそろえて設置してください。ただし、両側にエンドカバーを取付ける場合はキャビネット中央に設置してください。

### 【3. 中抜け配列用化粧部材の取付】（人大カウンターで中抜け配列の場合のみ）

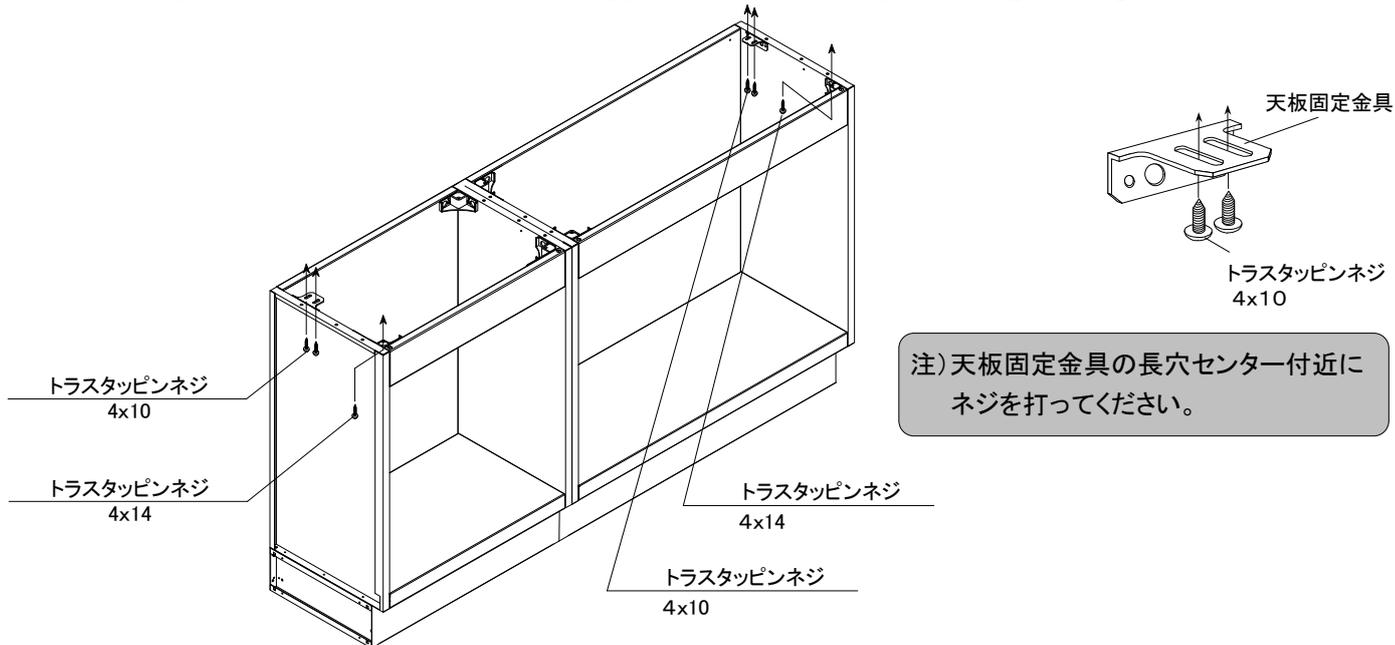
中抜け化粧部材に付属の設置説明書に従って、カウンター裏面に取り付けてください。



### 【4. カウンターの固定】

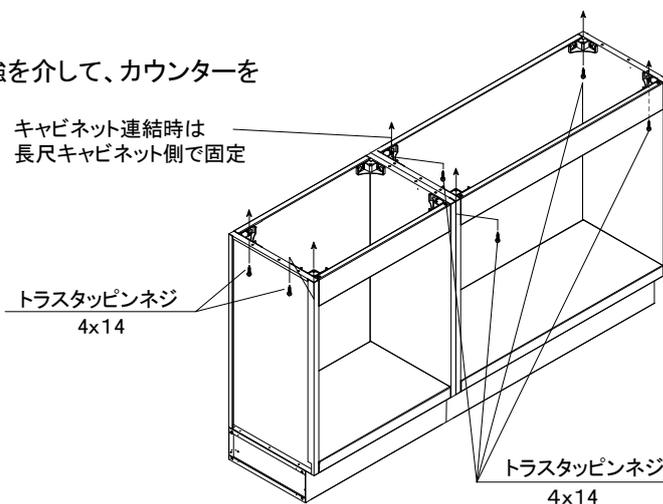
①カウンターをキャビネットと固定してください。

下図を参考に、キャビネット内より金具または隅補強を介して、カウンターをネジで固定してください。

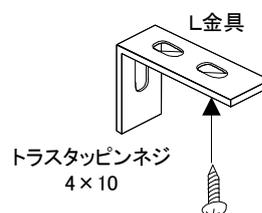


#### 注) メラミンカウンターの場合

右図を参考に、キャビネット内より隅補強を介して、カウンターをネジで固定してください。



②中抜け配列で片端を壁およびツールユニットに設置する場合、カウンターをネジで固定してください。



(片端を壁およびツールユニットに設置する場合)

③カウンター上におもりをおいてシリコンが硬化するまで約1日放置してください。

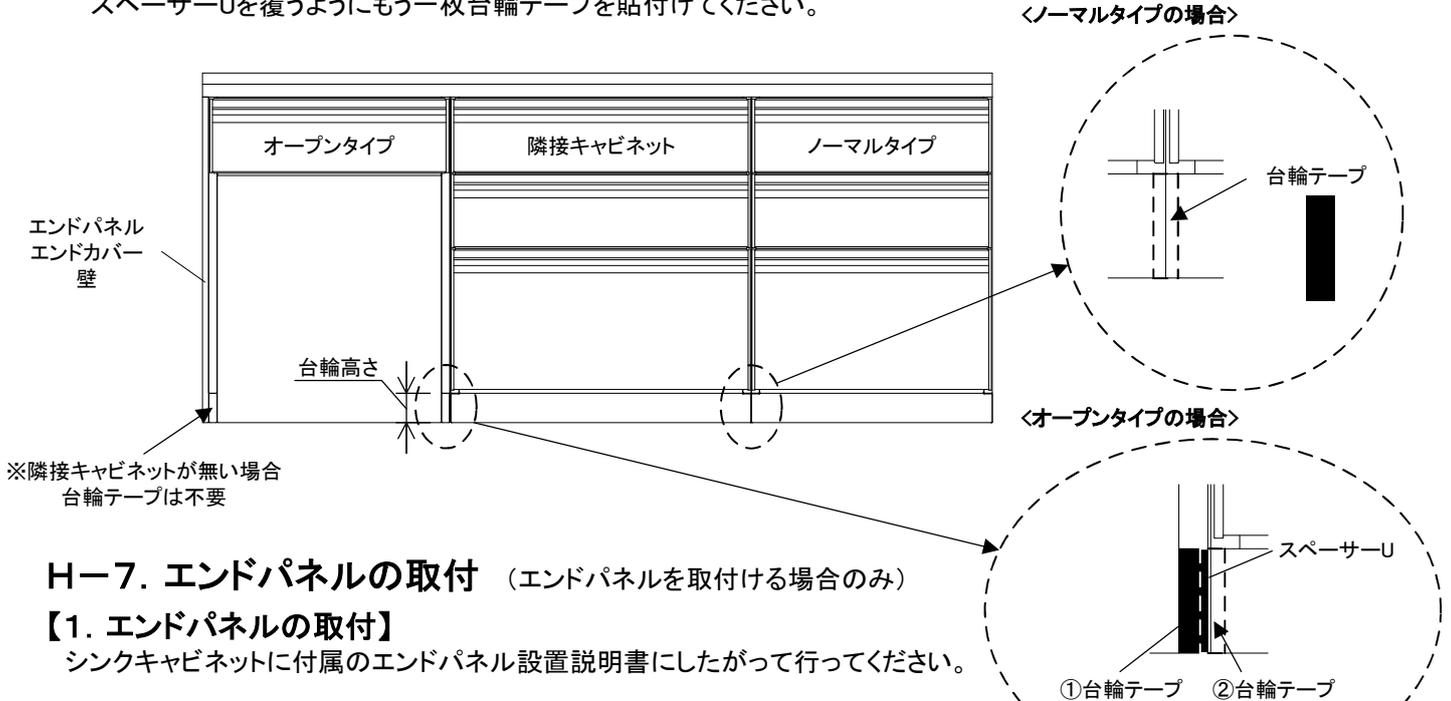
## H-6. 台輪テープの貼付 (ケコミ有りタイプの場合のみ)

### <ノーマルタイプの場合>

台輪テープを台輪高さにカットし、キャビネット間の継ぎ目をふさぐように貼付けてください。

### <オープンタイプの場合>

- ①オープンタイプのキャビネットの場合は、台輪テープを台輪高さにカットし、横台輪の前木口部分に貼付けてください。
- ②オープンタイプのキャビネットと隣接するキャビネットとの間にスペーサーUを貼付けている場合は、スペーサーUを覆うようにもう一枚台輪テープを貼付けてください。



## H-7. エンドパネルの取付 (エンドパネルを取付ける場合のみ)

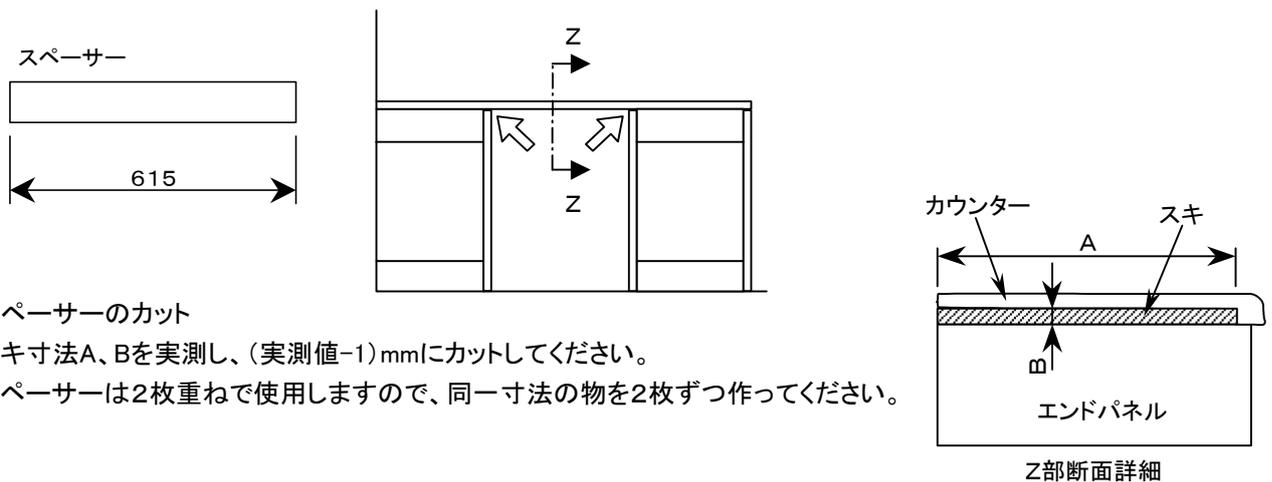
### 【1. エンドパネルの取付】

シンクキャビネットに付属のエンドパネル設置説明書にしたがって行ってください。

### 【2. スペーサーの取付】 (メラミンカウンターで中抜き配列の場合のみ)

カウンター下の中抜きスペースにエンドパネルを取付けると、カウンター裏面とエンドパネル上木口面との間にスキが発生します。

エンドパネル取付後、下記の手順でスペーサーをスキ部に取付けてください。



#### ①スペーサーのカット

スキ寸法A、Bを実測し、(実測値-1)mmにカットしてください。

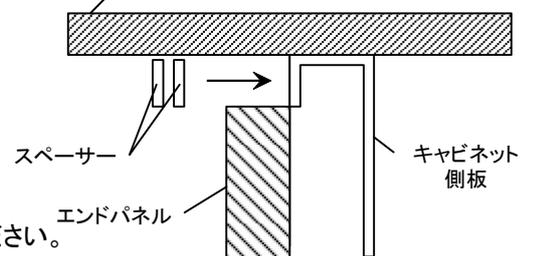
スペーサーは2枚重ねで使用しますので、同一寸法の物を2枚ずつ作ってください。

#### ②スペーサーの接着

①でカットしたスペーサーを木工用瞬間接着剤でスキの部分に接着してください。カウンター

## H-8. 扉・引出の取付

シンクキャビネットに付属の設置説明書を参照して扉と引出を取り付けてください。



## Ⅱ. 木製カウンターキャビネットの設置方法

(ホーロー製カウンターキャビネットの場合は3～10ページを参照してください)

### M-1. 扉・引出の取りはずし

シンクキャビネットに付属の設置説明書を参照して扉・引出を取りはずしてください。

### M-2. キャビネットの仮置き

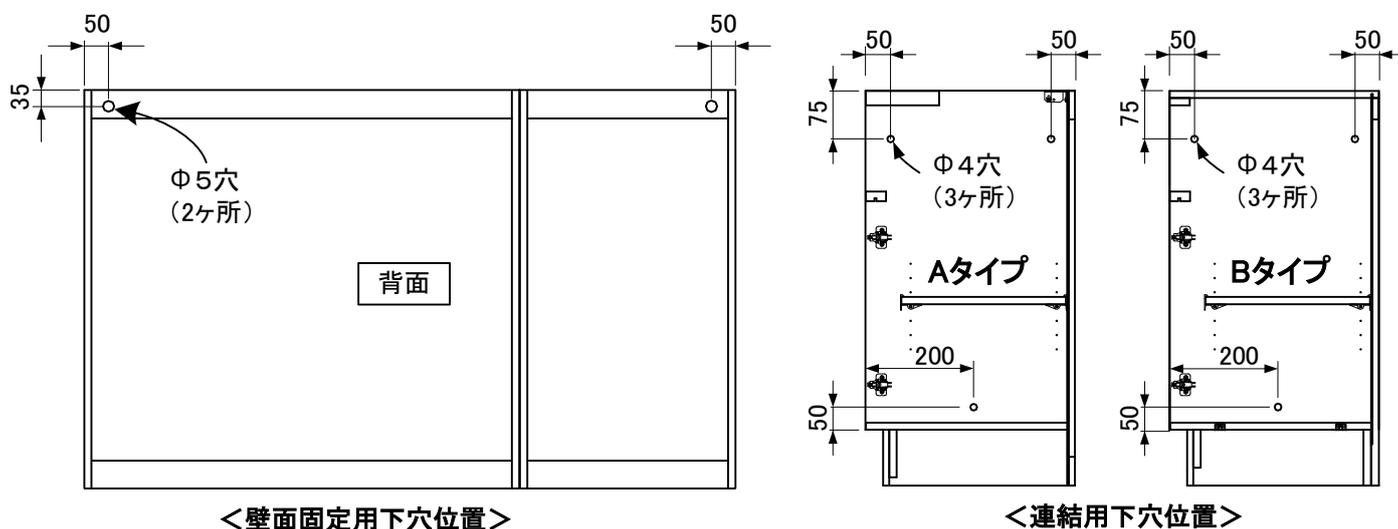
#### 【1. 壁面固定用下穴の加工】

キャビネットの後板に壁面固定用の穴を加工してください。

#### 【2. 連結用下穴の加工】

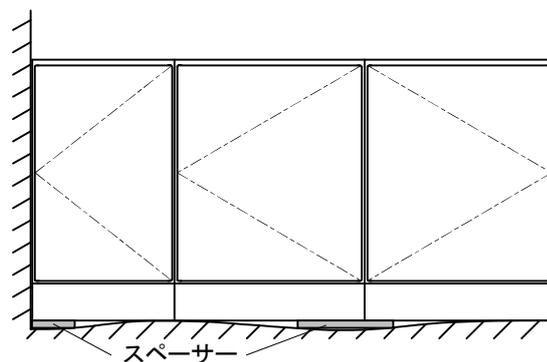
複数のキャビネットを連結する場合は、連結する一方の側板の所定の位置に連結用の穴を加工してください。

注) 1段引出付きオープンタイプと扉タイプのキャビネットを連結する場合は、扉タイプのキャビネットに連結用の穴を加工してください。  
下図は穴加工位置の一例を示していますが、引出レール等で図の位置に加工ができない場合は、上下に位置をずらして穴を加工してください。



#### 【3. キャビネットの仮置き】

キャビネットを仮置きし、床面のレベルが出ていない場合は、キャビネットとの間に適当なスペーサーを入れてレベルを調整してください。



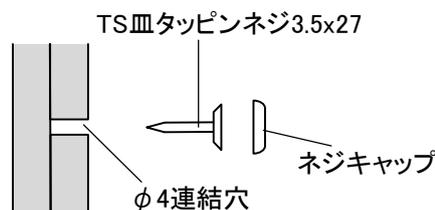
### M-3. キャビネットの設置

#### 【1. キャビネットの連結】

隣接するキャビネットの側板の上面と前木口面を合わせ、連結用下穴からネジで連結してください。

#### 【2. キャビネットの壁固定】

壁面固定用下穴からTS皿タッピンネジ4.5x60で壁面に固定し、ネジキャップを取り付けてください。



※1段引出付きオープンタイプから連結する場合は、皿タッピンネジ3.5x27にネジキャップ装着となります。

### 【3. キャビネットの床固定】(1段引出付きオープンタイプのみ)

#### ①コーナーコネクターの取付

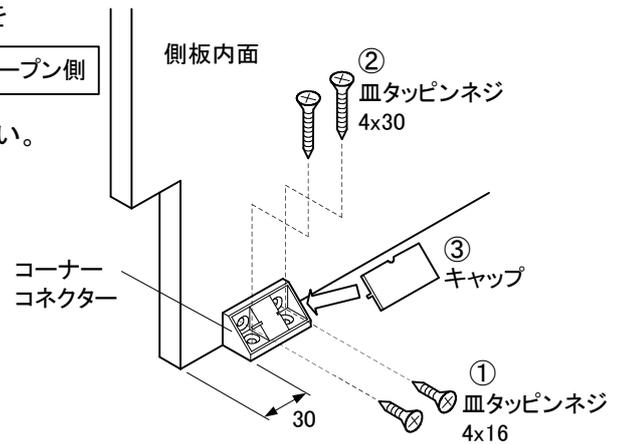
オープン側の側板内面に、キャビネット付属のコーナーコネクターを皿タッピンネジ4x16で取り付けてください。

#### ②床面へのネジ固定

コーナーコネクターから皿タッピンネジ4x30で床面に固定してください。

#### ③キャップの取付

コーナーコネクターに付属のキャップを取り付けてください。

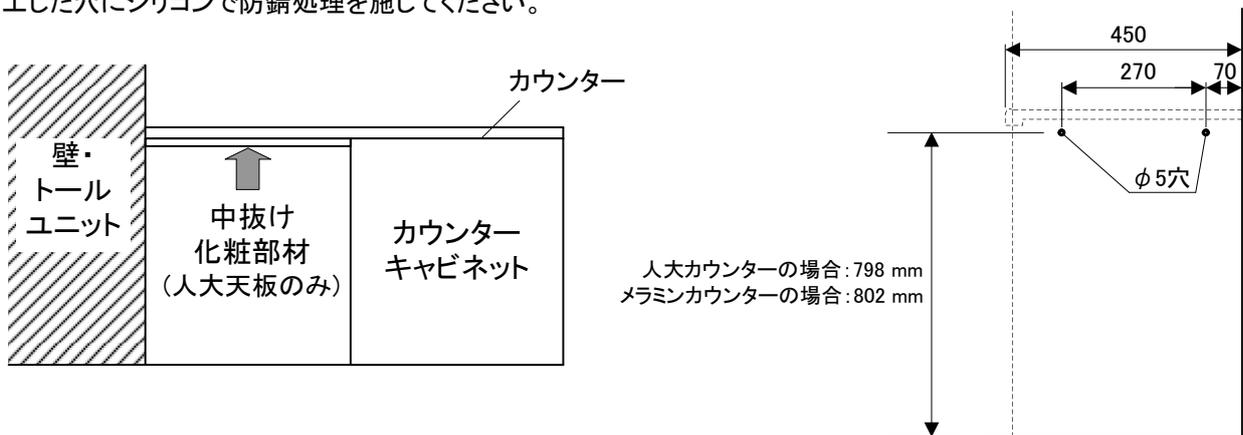


## M-4. 中抜け配列でカウンターの片端を壁・トールユニットに固定する場合

### 【1. カウンター固定用の下穴の加工】(ホーロー製のパネルがある場合)

①ホーロー製パネル(ホーロー製エンドパネル、キッチンパネル)の所定の位置にφ5穴を加工してください。

②加工した穴にシリコンで防錆処理を施してください。

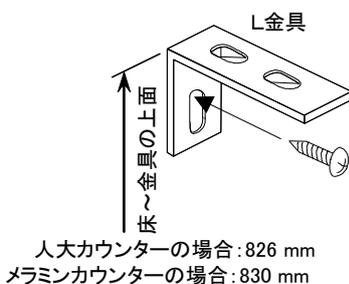


### 【2. L金具の取付】

L金具を所定の位置にネジで取付けてください。

注) ●取付場所によりネジの種類が異なります。

●ネジは、長穴の上端に打ってください。



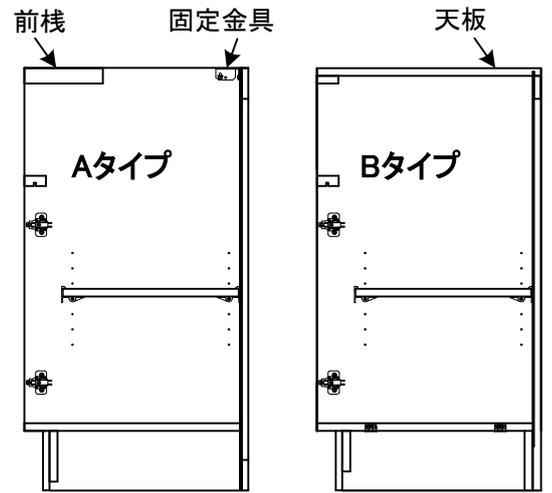
#### <使用ネジ>

取付箇所	使用ネジ
トールユニット	トラスタッピンネジ4x14 (シルバー色)
木製エンドパネル	
ホーロー製エンドパネル	トラスタッピンネジ4x30 (シルバー色)
壁	
壁+キッチンパネル	

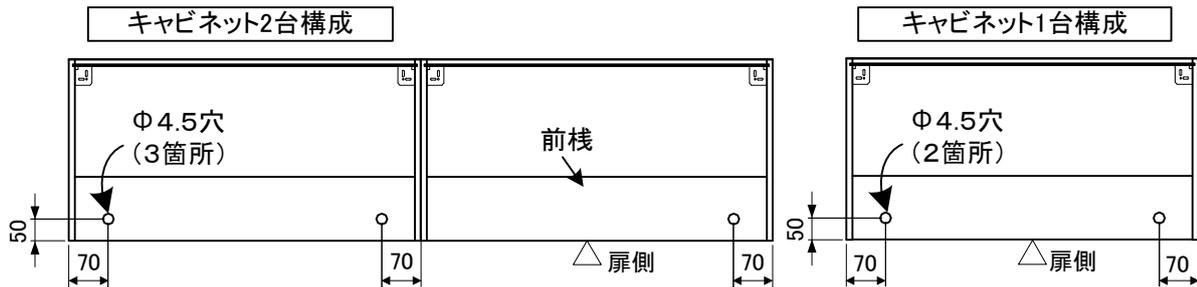
## M-5. カウンターの設置

### 【1. カウンター固定用下穴の加工】

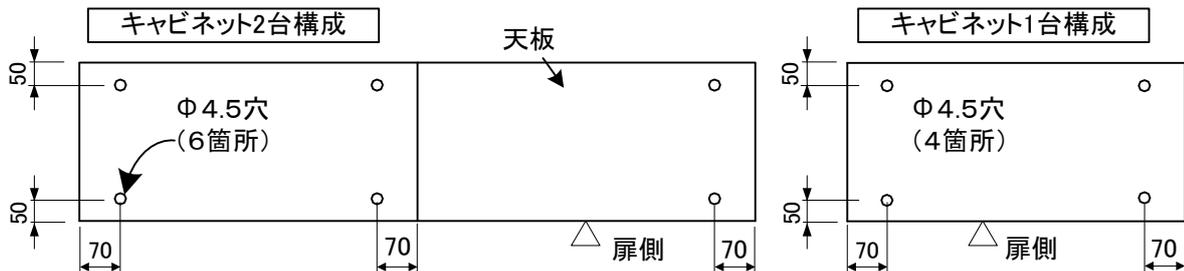
木製カウンターキャビネットは、下記A・B2タイプの仕様があります。  
キャビネットの仕様を確認のうえ、天面部の所定の位置に  
カウンター固定用の下穴を加工してください。



#### <Aタイプの場合>

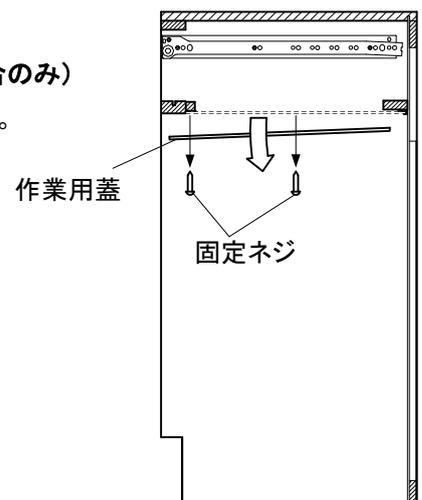


#### <Bタイプの場合>



### 【2. 作業用蓋の取りはずし】 (Bタイプ・1段引出付きオープンタイプの場合のみ)

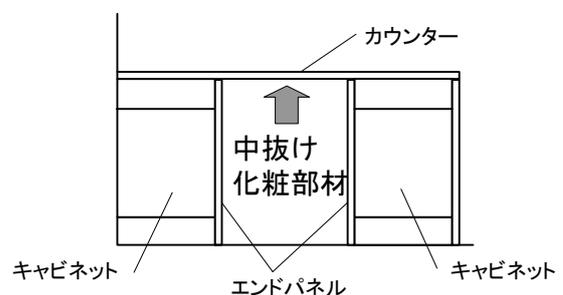
オープンスペース上面の固定ネジを取りはずして、作業用蓋をはずしてください。



### 【3. 中抜け配列用化粧部材の取付】

(人大カウンターで中抜け配列の場合のみ)

中抜け化粧部材に付属の設置説明書に従って、  
カウンター裏面に取り付けてください。



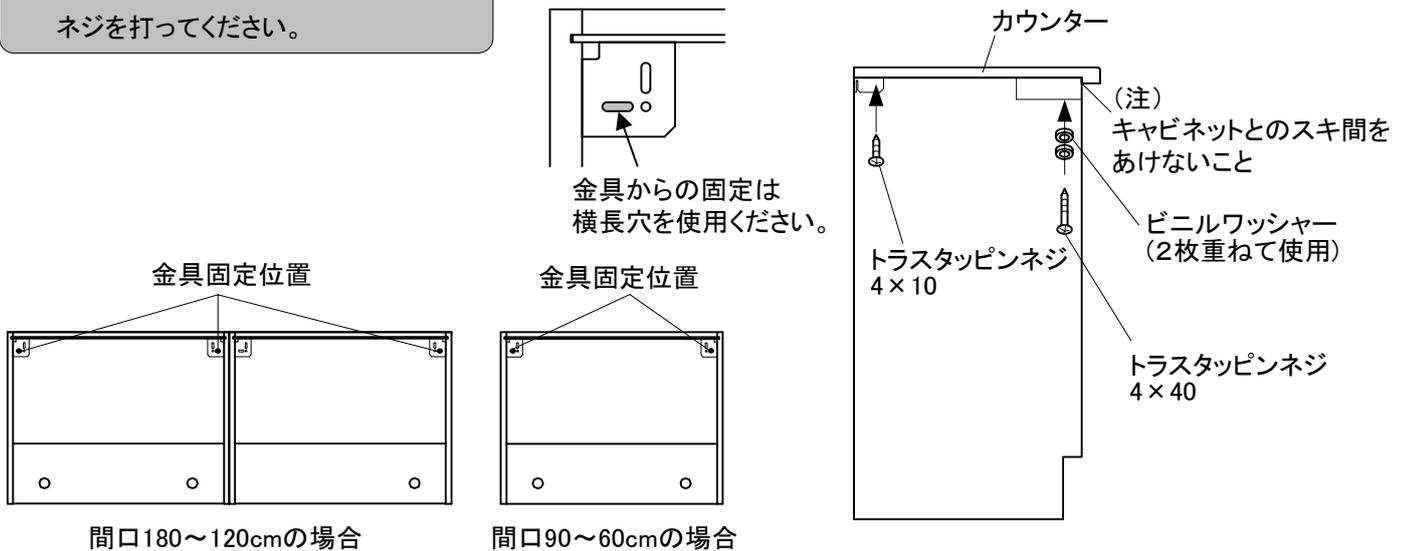
## 【4. カウンターの設置】

天面部A、Bタイプにより、カウンター固定ネジが変わります。それぞれのタイプの場合の説明を参照し、固定してください。

### ＜Aタイプの場合＞

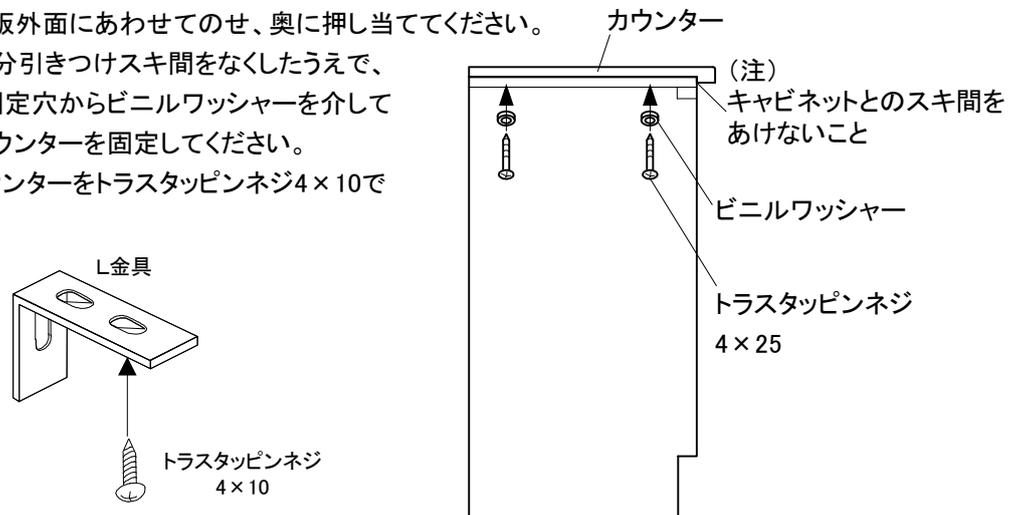
- ①カウンターをキャビネット側板外面にあわせてのせ、奥に押し当ててください。
- ②カウンターキャビネットに十分引きつけスキ間をなくしたうえで、キャビネット天板にあけた固定穴からビニルワッシャーを2枚介してトラスタッピンネジ4x40で、キャビネット組付の固定金具からトラスタッピンネジ4x10で、それぞれカウンターを固定してください。

注)固定金具の長穴センター付近に  
ネジを打ってください。



### ＜Bタイプの場合＞

- ①カウンターをキャビネット側板外面にあわせてのせ、奥に押し当ててください。
- ②カウンターキャビネットに十分引きつけスキ間をなくしたうえで、キャビネット天板にあけた固定穴からビニルワッシャーを介してトラスタッピンネジ4x25でカウンターを固定してください。
- ③L金具で固定する場合、カウンターをトラスタッピンネジ4×10で固定してください。



## M-6. 扉・引出の取付

シンクキャビネットに付属の設置説明書を参照して扉・引出を取付けてください。

## 5. 仕上げ

---

### 【1. 扉・引出の調整】

シンクキャビネットに付属の設置説明書を参照して扉・引出の前後方向、左右方向の調整をしてください。

### 【2. コーキング処理】

カウンターの周囲等、必要と思われる個所へコーキング処理をしてください。

### 【3. 清掃】

キャビネットの汚れ、ゴミ等は中性洗剤をつけた布でふきとってください。  
洗剤を使用した場合は必ず水拭き、空拭きを行い洗剤が残らないように注意してください。

## 6. 安全点検

---

扉の傾き、ガタツキや丁番のゆるみがないことを確認してください。

## 7. お願い事項

---

### 【1. 商品の養生】

すべての設置が完了しましたらカウンターおよびキャビネットを保護養生してください。

### 【2. 梱包材その他設置部材の処理】

梱包資材等の不要部材は法令にしたがって適正な処理をお願いします。

**タカラスタンダード株式会社**

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号

セツセツメイヨPCM4 9L-1



\* 1 3 2 1 3 0 4 3 \*